

## 事業計画書

|        |  |
|--------|--|
| 事業名    | 半島珈琲焙煎所（仮称）整備事業  |
| 実施場所   | 静岡県沼津市戸田 1588-3  |
| 実施予定期間 | ※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。<br>2020年11月1日 ～ 2021年1月31日 |

## ◎事業概要

※事業の概要を100～200字で簡潔に記載して下さい（事業の紹介などで使用します）。

戸田地区において、コーヒー豆の焙煎事業を実施します。焙煎した珈琲は戸田地区の飲食店や宿泊施設に向けた卸売りと、地域住民に向けての販売を主な販路とし、沼津南エリアで楽しむことができる豊かな山々と海の景観とセットでコーヒーを楽しむ文化を発信していきます。

## ◎目的

※何を目的として実施する事業であるか（事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか）を記載して下さい。

戸田地区は御浜岬に守られた穏やかで美しい戸田湾と、三方が豊かな山林に囲まれた自然豊かな景勝地として、多くの観光客を集めている地域です。しかしながら少子高齢化による事業の担い手不足や住民減少による空き家増加が深刻な問題となっており、新たな事業開発や空き家活用の取り組みが必要不可欠です。戸田地区の未来を描くために、まずは比較的若い世代が移住に向けた情報を入手できるように、地域の魅力発信拠点として「タゴールハーバーホテル」を2019年6月に開業しました。エリア再生の次のステップとして「戸田オリジナル珈琲豆」の開発に着手します。新たな地域物産の開発を通して、より多くの方に戸田の魅力をアピールする拠点として、タゴールハーバーホテルと連携した情報発信に取り組みます。

## ◎実施内容

| 日程   | 実施項目・作業項目  |
|--|--|
| 2020年8月<br>9月～10月<br>11月初旬<br>12月下旬<br>2021年1月<br>2月1日 | ※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容（打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会）、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。<br>事業用物件の入手<br>事業用物件の清掃、事業企画、施設改修設計<br>改修工事開始<br>改修工事完了<br>備品購入<br>事業開始 |

## ◎事業効果

|   |  |             |   |
|---|--|-------------|---|
| ※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。  |  |             |   |
| 戸田地区オリジナルの珈琲を焙煎して、地域の飲食店や宿泊施設を通して来街者や地元住民に珈琲を提供します。高品質な珈琲の提供により、戸田での滞在や暮らしの付加価値を創造し、移住や滞在リピートにつなげることが可能となります。また、高品質な珈琲豆はインターネットを通じて地域外にも販売して、戸田の新たな魅力として全国にPRし、まだ戸田を知らない若い世代への情報発信を通してエリアの集客力を向上させます。 |  |             |   |
| 成果指標  | ※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。             | 指標の<br>検証方法 | ※左記指標の検証方法を記載して下さい。                                       |
|   | 戸田での珈琲豆販売を通して、戸田エリアの認知度向上を図る。具体目標として、年間500名以上の来客につなげる。 |             | 珈琲豆の購入者へのアンケートを実施して、戸田で珈琲豆を購入した理由などについて質問し、エリア集客への貢献度を測る。 |

## ◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

|                 |   |
|-----------------|---|
| 公益性<br>・<br>必要性 | ※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。   |
|                 | ※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。<br>戸田地区は中央棧橋を起点とした戸田湾沿いの街並みに賑わいが偏っているが、 <u>山や川など山間にも多くの魅力を持っている。海山双方の魅力をアピールするため、焙煎所の敷地を比較的海から離れた位置に計画した。焙煎所の近くには大規模な桜並木が整備されており、春には戸田屈指の自然の景観を楽しむことができる。このエリアへの集客を促進することで、より広範囲に渡って戸田地区を楽しむことができるような環境整備を目指す。</u>   |
| 地域性             | ※地域の実状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。<br><u>戸田地区に多く存在している空き家の活用先進事例として、今後の移住検討者にとっての参考事例となり空き家活用促進の一端を担う。交流人口や移住人口が増えることで地域での消費活動が活性化し、産業の活性化を促すことを最重要課題と捉えて本事業に取り組む。また、地域資源の活用として、改修に用いる材木等を戸田森林組合と連携して間伐材を用いることを検討している。</u>  |
| 先導性             | ※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。<br>現在弊社では <u>海辺を中心とした観光情報の発信拠点として「タゴール・ハーバーホテル」を2019年6月より運営しており、情報発信の第二拠点として半島珈琲焙煎所（仮称）を今回整備する。海山が隣接して共存していることが戸田地区の特徴と捉え、山や川の魅力に注力したPRを想定している。また、比較的高価な焙煎機をシェアする仕組みを導入することで、小事業者も手軽にオリジナルの珈琲豆を開発することができ、付加価値創出に貢献する。</u>   |
| 発展性<br>・<br>継続性 | ※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。<br>※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などどのように取り組んでいくのかについて記載して下さい。<br><u>戸田エリアにおける販売を中心として事業を開始し、珈琲豆製造の品質管理を徹底して行う。品質管理がある程度できるようになった段階で、伊豆半島全体のマーケットを積極的に開拓し、ひいては日本を代表する珈琲焙煎所を目指す。販売は主にインターネット経由のD2C販売を行い、戸田地区のPRと併せて実施することで、実際に戸田への来街のきっかけづくりに注力する。</u> |
| 実現性<br>・<br>妥当性 | ※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。<br>※妥当性：各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。<br><u>運営上の工夫として、現在戸田地区で弊社が運営している観光情報発信拠点「タゴール・ハーバーホテル」のスタッフの空き時間を活用して珈琲焙煎事業を実施する。戸田地区は夏の繁忙期を除いて観光客数が少ないため、スタッフの稼働平準化を目指して、ホテルと焙煎所でスタッフを融通する。また、施設は空き家をリノベーションすることで初期費用を最小限とする。</u>            |

|          |  |
|----------|--|
| 活動に対する熱意 | <p>※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。</p> <p>現在戸田地区で弊社が運営している観光情報発信拠点「タゴール・ハーバーホテル」には昨年度 5,000 人以上の方が宿泊に訪れました。その中で街の中を散策するのに、まちなかに立ち寄るスポットがないという意見が多く聞かれました。戸田に存在している海・川・山の自然と、それをつなぐ街の魅力を増幅することで、よりそれらの魅力を身近に感じてもらうことが、戸田地区が今後 10 年を生き残るための重要な課題であると考えています。今回の半島珈琲焙煎所（仮称）整備事業はタゴールハーバーホテルに続く戸田地区における連続型まちづくり事業の第二弾として、地域や沼津市、周辺自治体と連携して事業を進めていきたいと考えています。</p> |
|----------|--|